

特別プログラム

学会長講演

10月20日（火） 10:10～10:50 第1会場

健康医療介護の未来づくり：社会的協働

座長：小林 廉毅（東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学）

演者：今中 雄一（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野、京都大学超高齢社会デザイン価値創造ユニット）

特別講演Ⅰ

10月20日（火） 11:00～12:00 第1会場

COVID-19の対策：これまでそしてこれから

座長：今中 雄一（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野、京都大学超高齢社会デザイン価値創造ユニット）

演者：尾身 茂（独立行政法人地域医療機能推進機構）

特別講演Ⅱ

10月20日（火） 14:10～15:00 第1会場

柏プロジェクトの今後の展開：地域包括ケアシステム

座長：山田 典子（京都市保健所）

演者：辻 哲夫（東京大学高齢社会総合研究機構）

特別講演Ⅲ

10月20日（火） 15:00～15:50 第1会場

京都府におけるスマートシティづくり

座長：山縣然太郎（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）

演者：山下 晃正（京都府副知事）

特別講演Ⅳ

10月21日（水） 13:00～14:00 第1会場

医療研究開発におけるAMEDの取り組み

座長：磯 博康（大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座公衆衛生学）

演者：三島 良直（国立研究開発法人日本医療研究開発機構）

メインシンポジウム I

10月20日 (火) 15:50~18:00 第1会場

健康医療介護とスマートシティ・まちづくり

座長：辻 哲夫 (東京大学高齢社会総合研究機構)
今中 雄一 (京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野、京都大学超高齢社会デザイン価値創造ユニット)

演者：スマートシティ会津若松とヘルスケア事業のとりくみ
宮森健一郎 (会津若松市役所健康福祉部高齢福祉課)

公共交通の活性化とデータ利活用による健康寿命の延伸とスマートシティの推進
本田 信次 (富山市政策監)

サスティナブル・スマートタウン ウェルネスサービスへの挑戦
荒川 剛 (Fujisawa SST マネジメント株式会社)

京都地域包括ケア推進機構の取組ー高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるためにー
東原 勲 (京都府健康福祉部高齢者支援課、京都地域包括ケア推進機構)

メインシンポジウム II

10月22日 (木) 15:20~16:50 第1会場

新型コロナウイルス感染症感染の実像を考える

座長：中島 一敏 (大東文化大学スポーツ・健康科学部健康科学科)
前田 秀雄 (東京都北区保健所)

演者：分析疫学の立場から
押谷 仁 (東北大学大学院医学系研究科微生物学分野)

COVID-19の現状分析：理論疫学の立場から
西浦 博 (京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻環境衛生学分野)

新型コロナウイルス SARS-CoV-2のゲノム分子疫学調査
黒田 誠 (国立感染症研究所・病原体ゲノム解析研究センター)

医療機関の立場から
大曲 貴夫 (国立国際医療研究センター国際感染症センター)

メインシンポジウムⅢ

10月22日（木） 17:00～18:30 第1会場

新型コロナウイルス感染症対策と地域社会における連携

座長：高鳥毛敏雄（関西大学社会安全学部・社会安全研究科）
白井 千香（枚方市保健所）

演者：医師会の立場から
茂松 茂人（一般社団法人大阪府医師会）

看護協会の立場から
～新型コロナウイルス感染症に関する日本看護協会の取り組み～
鎌田久美子（公益社団法人日本看護協会）

研究教育機関の立場から：帝京大学と東京都北区との連携の経験をもとに
福田 吉治（帝京大学大学院公衆衛生学研究科）

NPOの立場で見た外国人のCOVID-19対策の課題と連携
沢田 貴志（神奈川県勤労者医療生活協同組合港町診療所、シェア＝国際保健協力市民の会）

Covid-19下での「人権」の視座
谷口真由美（大阪芸術大学）

市民公開講座Ⅰ

10月22日（木） 13:00～14:00 第1会場

人生100年時代を健康に生きる～食・運動・地域の繋がりを考える～

座長：今中 雄一（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野、京都大学超高齢社会デザイン価値創造ユニット）

演者：鎌田 實（諏訪中央病院）

市民公開講座Ⅱ

10月22日（木） 14:10～15:10 第1会場

『森林と健康』 EBMに立脚したShinrin-yoku（森林浴）について

座長：今中 雄一（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野、京都大学超高齢社会デザイン価値創造ユニット）

演者：今井 通子（International Society of Forest Medicine（INFOM）、特定非営利活動法人（NPO）森林セラピーソサエティー）

教育講演 A1-3

10月20日（火） 13:00～14:00 第1会場

持続可能な福祉社会—コロナ後の社会構想と人口減少社会のデザイン

演者：広井 良典（京都大学こころの未来研究センター）

教育講演 A5-3

10月20日（火） 13:30～14:30 第5会場

高齢者研究を続ける中で、やっぱり気になる子どもたち

演者：木村みさか（同志社女子大学看護学研究科、京都先端科学大学アクティブヘルス機構）
協賛：株式会社社会保険研究所、株式会社ルネサンス、NPO 法人日本健康運動指導士会、
公益財団法人健康・体力づくり事業財団

教育講演 B2-1

10月21日（水） 8:50～9:50 第2会場

The planet, economic growth and our health: learning from the Japanese experience

演者：Eric Brunner（Social and biological epidemiology, Whitehall II study, UCL Institute of Epidemiology and Health Care.Osaka University Grad. School Medicine）

教育講演 B3-1

10月21日（水） 8:50～9:50 第3会場

環境要因と遺伝要因の相互作用から探る予防医学

演者：原田 浩二（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻環境衛生学分野）

教育講演 B2-2

10月21日（水） 9:55～10:55 第2会場

地域包括ケアと医療・介護のデータベース活用

演者：松田 晋哉（産業医科大学医学部公衆衛生学教室）

教育講演 B3-2

10月21日（水） 9:55～10:55 第3会場

行動経済学と健康：ナッジ、インセンティブとその背景

演者：後藤 励（慶應義塾大学大学院経営管理研究科）

教育講演 B2-3

10月21日（水） 11:00～12:00 第2会場

地域住民を対象とした大規模認知症コホート研究の展開

演者：二宮 利治（九州大学大学院医学研究院衛生・公衆衛生学分野）

教育講演 B3-3

10月21日（水） 11:00～12:00 第3会場

データヘルス時代の母子保健情報の利活用

演者：山縣然太郎（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）

教育講演 B2-4

10月21日（水） 13:00～14:00 第2会場

新興感染症の制御と数理モデル：SARS、MERS、COVID-19

演者：西浦 博（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻環境衛生学分野）

教育講演 B3-4

10月21日（水） 13:00～14:00 第3会場

まちぐるみの認知症予防と共生社会

演者：玉井 顯（医療法人敦賀温泉病院、認知症疾患医療センター、介護老人保健施設ゆなみ）

教育講演 B1-5・研修会

10月21日（水） 14:10～15:40 第1会場

あなたを活かす国際キャリア形成の手ほどき

演者：中谷比呂樹（グローバルヘルス人材戦略センター、慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート）

教育講演 B2-5

10月21日（水） 14:05～15:05 第2会場

健康の社会的要因（Social Determinants of Health: SDH）

演者：近藤 克則（千葉大学予防医学センター社会予防医学研究部門、国立長寿医療研究センター老年学・社会科学センター老年学評価研究部、日本老年学的评价研究機構）

教育講演 B3-5

10月21日（水） 14:05～15:05 第3会場

気候変動と健康～グローバル＆ローカルの視点から～

演者：橋爪 真弘（東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学）

教育講演 B3-6

10月21日（水） 15:10～16:10 第3会場

オーラルフレイル予防の必須対策：公衆衛生的アプローチ

演者：三浦 宏子（北海道医療大学歯学部保健衛生学分野）

シンポジウム A2-3

10月20日（火） 13:00～14:30 第2会場

これからの検疫を考える－COVID-19の経験から－

座長：垣本 和宏（厚生労働省那覇検疫所）
上野 健一（厚生労働省関西空港検疫所）

演者：国際空港における旅客機など航空機に対する検疫の経験について
竹内 聡礼（厚生労働省関西空港検疫所）

クルーズ客船などの船舶に対する検疫の経験と課題について
梅田 恭子（横浜検疫所検疫衛生課）

検疫業務における自衛隊の災害派遣について
名越 究（島根大学医学部環境保健医学講座）

検疫制度、検疫所の歴史的変遷について
柏樹 悦郎（厚生労働省大阪検疫所）

検疫業務に課せられた、今後の期待と責務について
奥村 二郎（近畿大学医学部環境医学・行動科学教室）

シンポジウム A3-3

10月20日 (火) 13:00~14:30 第3会場

超高齢社会と人口偏在社会における複合災害への備えをどうするか

座長：安村 誠司（福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座）
高鳥毛敏雄（関西大学社会安全学部・社会安全研究科）

演者：災害の激甚化の時代にいかに立ち向かうか
室崎 益輝（兵庫県立大学大学院減災復興研究科）

COVID-19流行期に大規模災害が発生した場合の感染防止対策
砂川 富正（国立感染症研究所感染症疫学センター）

複合災害の感染予防と健康支援対策の課題
大森 純子（東北大学大学院医学系研究科公衆衛生看護学分野）

COVID-19流行期に自然災害が発生した場合の課題-地方自治体と保健所の立場から
白井 千香（枚方市保健所）

シンポジウム A4-3

10月20日 (火) 13:00~14:30 第4会場

多施設 DPC データ活用の実践と今後の展望

座長：猪飼 宏（京都府中丹西保健所）
佐々木典子（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野）

演者：臨床疫学研究における限界を突破するための他データとのリンケージの事例
森島 敏隆（大阪国際がんセンターがん対策センター）

地域医療構想の推進に向けた多施設 DPC データ分析
小林 大介（神戸大学大学院医学研究科医療システム学分野医療経済・病院経営学部門）

DPC データと医療の質
國澤 進（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野）

臨床疫学の見地から見た、大規模医療データベース（DPC データベースを中心に）
松居 宏樹（東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻臨床疫学・経済学）

DPC データによる分析に資するデータ精度の向上
村上 玄樹（産業医科大学病院医療情報部）

シンポジウム A2-4

10月20日 (火) 14:40~16:10 第2会場

地方衛生研究所研修フォーラム「新型コロナウイルス感染症への対応と課題」

座長：四宮 博人（愛媛県立衛生環境研究所）
調 恒明（山口県環境保健センター）

演者：地方衛生研究所における新型コロナウイルス検査対応
四宮 博人（愛媛県立衛生環境研究所）

保健所支援から考える新型コロナウイルス感染症の課題と対策
草深 明子（東京都健康安全研究センター）

保健所の新型コロナウイルス感染症への対応
緒方 剛（茨城県土浦保健所）

クラスター対策とサーベイランス
鈴木 基（国立感染症研究所感染症疫学センター）

新型コロナウイルス感染症への対応と課題
梅田 浩史（厚生労働省健康局）

シンポジウム A3-4

10月20日 (火) 14:40~16:10 第3会場

地域包括ケアと災害医療対策1：更なる広がりを目指して

座長：松本 良二（千葉県野田保健所）
佐藤 拓代（公益社団法人母子保健推進会議、元大阪母子医療センター母子保健情報センター）

演者：医師不足地域の災害医療対策は地域包括ケアから：令和元年台風の教訓を踏まえて
石田久美子（茨城県潮来保健所）

保健所・市町村と協働した予防医学の視点による災害医療対策の必要性
植田 信策（石巻赤十字病院呼吸器外科）

災害対応を通じた平時の母子保健体制強化とネットワーク構築
吉田 穂波（神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科）

災害時小児周産期医療体制と子育て世代包括支援センターとの連携の重要性
岬 美穂（国立病院機構本部 DMAT 事務局）

シンポジウム A4-4

10月20日 (火) 14:40~16:10 第4会場

成育基本法と健やか親子21

座長：山縣然太郎（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）
市川 香織（東京情報大学看護学部）

演者：成育基本方針について
小林 秀幸（厚生労働省子ども家庭局母子保健課）

健やか親子21の成育基本法委における位置づけ
山縣然太郎（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）

小児保健医療における成育基本方針
山崎 嘉久（あいち小児保健医療総合センター）

学童期における成育基本方針
松浦 賢長（福岡県立大学看護学部）

成育基本法における周産期医療の方向性
市川 香織（東京情報大学看護学部）

シンポジウム A5-4

10月20日 (火) 14:40~16:10 第5会場

ペットと人の健康におけるエビデンス構築の展望

座長：小林 真朝（聖路加国際大学大学院看護学研究科）

演者：ペットの人間に対する健康効用
星 且二（東京都立大学都市政策科学）

子どもの健康増進とペットの存在
山本 和弘（帝京科学大学生命環境学部アニマルサイエンス学科）

我が国の小児及び高齢者におけるペット飼育の効果
谷口 優（国立環境研究所環境リスク・健康研究センター、東京都健康長寿医療センター研究所）

シンポジウム A2-5

10月20日 (火) 16:20~17:50 第2会場

ダイヤモンド・プリンセス号における COVID-19への対応

座長：中澤よう子（神奈川県健康医療局）
大久保一郎（横浜市衛生研究所）

演者：DMAT による769人の搬送調整の経験と教訓
阿南 英明（藤沢市民病院）

神奈川県の役割について
村岡 広代（神奈川県厚木保健福祉事務所）

ダイヤモンド・プリンセス号・横浜市の対応
種子田太郎（横浜市医療局）

ダイヤモンド・プリンセス号に対する国の支援について
堀岡 伸彦（厚生労働省）

シンポジウム A3-5

10月20日（火） 16:20～17:50 第3会場

地域包括ケアと災害医療対策2：多職種連携の展開はリハ専門職、保健師、そして福祉へ

座長：松本 良二（千葉県野田保健所）
石田久美子（茨城県潮来保健所）

演者：地域包括ケアと災害医療対策 ～地域におけるリハビリテーション専門職の活動～
清水 兼悦（一般社団法人日本作業療法士協会、一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会）

行政リハビリテーション専門職に期待する役割～東日本大震災の好事例から～
築場 玲子（宮城県気仙沼保健福祉事務所）

災害派遣福祉チーム京都 DWAT 平時から災害時へ：多職種・地域連携で二次被害ゼロ
宮村 匡彦（京都府健康福祉部健康福祉総務課）

公民協働による災害時の福祉支援体制構築と他職種連携に向けた課題
名取 直美（株式会社富士通総研行政経営グループ、株式会社富士通総研公共政策研究センター）

シンポジウム A4-5

10月20日（火） 16:20～17:50 第4会場

改正健康増進法、全面施行！進捗評価と今後の推進方策

座長：田淵 貴大（大阪国際がんセンターがん対策センター疫学統計部）
姜 英（産業医科大学産業生態科学研究所）

演者：第一種施設における受動喫煙防止対策の状況
大和 浩（産業医科大学産業生態科学研究所健康開発科学研究室）

飲食店における受動喫煙防止の状況
村木 功（大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学）

「自治体における改正健康増進法施行後の状況」
風間 昌美（滋賀県庁）

保健所の状況および上乗せ条例の影響
加治 正行（静岡市保健所）

指定発言：樺田 尚樹（産業医科大学産業保健学部産業・地域看護学）

シンポジウム B5-1

10月21日（水） 8:50～10:20 第5会場

難病対策地域協議会を活かす取り組み

座長：鈴木 仁一（相模原市保健所）
江口 尚（産業医科大学産業生態科学研究所産業精神保健学研究室）

演者：難病相談支援センターと難病対策地域協議会の連携について
小森 哲夫（国立病院機構箱根病院神経筋・難病医療センター）

難病対策地域協議会の活用と地域支援体制整備-保健活動、難病事業、行政計画の必要性-
小倉 朗子（公益財団法人東京都医学総合研究所）

滋賀県における難病対策地域協議会の取り組みについて
村井 あき（滋賀県庁健康寿命推進課難病・小児疾病係）

難病対策地域協議会～相模原市での取り組み～
中村 淳代（相模原市健康福祉局保健衛生部疾病対策課）

シンポジウム B6-1

10月21日（水） 8:50～10:20 第6会場

地域包括ケア時代における高齢者就労の現状と課題

座長：藤原 佳典（東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム）
服部 真治（一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構、東京都健康長寿医療センター）

演者：高齢期の就労の効果：高齢者本人への健康影響と周囲への恩恵の好循環
村山 洋史（東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム）

なにが高齢者を元気にするのか -ものづくりの取り組みから-
小川 敬之（京都橋大学健康科学部作業療法学科）

デイサービスにおける就労的活動「sitte プロジェクト」の取り組みからみえたこと
河本 歩美（（福）京都福祉サービス協会高齢者福祉施設西院、NPO 法人地域共生開発機構「ともつく」）

高齢者就労を支援する政策的意義と課題
北川 博巳（京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室）

シンポジウム B7-1

10月21日（水） 8:50～10:20 第7会場

健康経営と地域・職域連携

座長：仁賀 建夫（経済産業省ヘルスケア産業課）
津下 一代（あいち健康の森健康科学総合センター）

演者：地域・職域連携推進ガイドラインと健康経営
津下 一代（あいち健康の森健康科学総合センター）

健康経営銘柄企業としての取り組み
須山有輝子（ワコール健康保険組合）

福井県二次医療圏における地域・職域連携推進事業の現状と課題
新田 和美（福井県福井健康福祉センター）

小規模事業場に対する健康支援
渡井いずみ（浜松医科大学地域看護学講座）

NDB 特定健診項目の二次医療圏単位での集計ー地域・職域連携推進の基礎資料として
加藤 源太（京都大学医学部附属病院診療報酬センター）

シンポジウム B8-1

10月21日 (水) 8:50~10:20 第8会場

Life-course Immunization の実現に向けて～生涯を通じた予防接種の重要性～

座長：角野 文彦（滋賀県健康医療福祉部）

演者：Life course Immunization について

岡部 信彦（川崎市健康安全研究所）

思春期・青年期のワクチン<HPV ワクチン>

田中 敏博（静岡厚生病院小児科）

現役ミドル世代のワクチン（MR ワクチン）

多屋 馨子（国立感染症研究所感染症疫学センター）

シニア世代のワクチン 肺炎球菌ワクチン

鈴木 智之（滋賀県衛生科学センター）

シンポジウム B5-2

10月21日 (水) 10:30~12:00 第5会場

睡眠と健康を考える

座長：谷川 武（順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座）

兼板 佳孝（日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野）

演者：高齢者の睡眠

尾崎 章子（東北大学大学院医学系研究科老年・在宅看護学分野）

妊娠時の睡眠状態の母児に及ぼす健康影響とその公衆衛生学的意義について

小橋 元（獨協医科大学医学部公衆衛生学講座）

小児の睡眠

山縣然太郎（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）

睡眠呼吸障害と健康

和田 裕雄（順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座）

6 ナショナルセンターが連携して行う医療政策研究と情報提供

座長：植木浩二郎（国立高度専門医療研究センター医療研究連携推進本部、国立国際医療研究センター研究所糖尿病研究センター）

東 尚弘（国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター）

演者：国立高度専門医療研究センターの今後の在り方に関する議論について

天辰 優太（厚生労働省医政局医療経営支援課）

国立循環器病研究センターにおける NDB を含むレセプト DPC データの活用事例について

西村 邦宏（国立循環器病研究センター予防医学・疫学情報部）

NDB を用いた成育医療に関する研究の紹介

森崎 菜穂（国立成育医療研究センター社会医学研究部）

確かながん情報を国民に届けるために：情報の信頼性、中立性、迅速性をどう担保するか

高山 智子（国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供部）

糖尿病に関する医療政策研究と情報提供、GNC 連携への展望

杉山 雄大（国立国際医療研究センター国際医療協力局グローバルヘルス政策研究センター、筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野）

地域共生社会に向けた「保健活動」の他分野連携戦略と戦術

座長：大澤 絵里（国立保健医療科学院国際協力研究部）

藤原 佳典（東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム）

演者：健康施策を推進するための市町村保健センターの連携機能とは

大澤 絵里（国立保健医療科学院国際協力研究部）

生活支援体制整備事業を通じた地域包括ケアシステム構築のプロセス

徳田 元子（岡山市保健所健康づくり課）

大都市部における多世代交流・互助の地域づくりのプロセスとポイント

野中久美子（東京都健康長寿医療センター研究所）

組織内と組織間のソーシャルキャピタル醸成を軸にした今後の地域保健の展開

尾島 俊之（浜松医科大学健康社会医学講座）

シンポジウム B8-2

10月21日（水） 10:30～12:00 第8会場

社会的協働による健康都市・空間デザインの可能性

座長：近藤 克則（千葉大学予防医学センター、国立研究開発法人国立長寿医療研究センター老年学・社会科学研究センター）
岡野 郊子（パシフィックコンサルタンツ株式会社）

演者：産官学研究による健康都市・空間デザインのキーテクノロジー開発と社会実装
花里 真道（千葉大学予防医学センター）

産官学研究への期待・企業の課題とアカデミアへの期待
岡野 郊子（パシフィックコンサルタンツ株式会社サービスプロバイダー事業部）

産学共創の研究開発と社会実装・ファウンダーの視点
蔭 赫（国立研究開発法人科学技術振興機構イノベーション拠点推進部 OPERA グループ）

暮らしているだけで健康になる「むつざわスマートウェルネスタウン」の取り組み
市原 武（睦沢町）

シンポジウム B6-3

10月21日（水） 13:00～14:30 第6会場

いま、社会医学系医師を考える

座長：磯 博康（大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座公衆衛生学）
今中 雄一（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野、京都大学超高齢社会デザイン価値創造ユニット）

演者：社会医学系医師に期待され、求められるもの
佐々木昌弘（厚生労働省大臣官房厚生科学課）

保健所の仕事（新型コロナウイルス対策含む）と期待される医師像
内田 勝彦（大分県東部保健所）

公衆衛生・衛生行政医師の確保と育成に関する調査と実践事業の成果と今後の方向性
宮園 将哉（大阪府健康医療部）

大学の立場から「学部・大学院の社会医学系医師の育成」
玉腰 暁子（北海道大学大学院医学研究院公衆衛生学）

公衆衛生等の社会医学系分野で活躍する医師の育成・確保に向けて
和田 裕雄（順天堂大学大学院医学研究科）

指定発言：

社会医学系専門医への期待
宇田 英典（地域医療振興協会地域医療研究所ヘルスプロモーション研究センター）

シンポジウム B7-3

10月21日（水） 13:00～14:30 第7会場

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の推進に向けて

座長：新開 省二（女子栄養大学栄養学部地域保健・老年学研究室、東京都健康長寿医療センター研究所）
安田 誠史（高知大学医学部公衆衛生学教室）

演者：高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施についてー健康寿命の延伸に向けてー
増田 利隆（厚生労働省保険局高齢者医療課）

フレイルに対する公衆衛生的アプローチー研究者の立場からー
北村 明彦（東京都健康長寿医療センター研究所）

地域の孤立高齢者へのアプローチ
岸 恵美子（東邦大学大学院看護学研究科）

通いの場から見た保健事業との一体的実施への期待と推進のための留意点
植田 拓也（東京都健康長寿医療センター研究所東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター）

鳩山町における「高齢者の保険事業と介護予防の一体化」への取り組み
山口貴代美（埼玉県鳩山町役場長寿福祉課地域包括支援センター）

シンポジウム B8-3

10月21日（水） 13:00～14:30 第8会場

新型インフルと新型コロナから ～未来への教訓～

座長：稲葉 静代（岐阜県岐阜保健所）
伊東 則彦（北海道江差保健所・江差高等看護学院）

演者：新型コロナウイルスのクラスター対策と保健所の役割
押谷 仁（東北大学大学院医学系研究科微生物学分野）

新型インフルエンザ等特措法 新型コロナへの運用を振り返る
正林 督章（厚生労働省健康局）

パンデミックに耐えられる医療体制とは
大曲 貴夫（国立国際医療研究センター国際感染症センター）

新型インフルと新型コロナから ～未来への教訓～
中澤よう子（神奈川県健康医療局）

新型コロナウイルスウイルス感染症と保健所機能 2つのパンデミックを振り返る
中里 栄介（佐賀県鳥栖保健所）

シンポジウム B6-4

10月21日 (水) 14:40~16:10 第6会場

日本における最近の低出生体重の現状分析と出生コホート連携の展望

座長：栗山 進一（東北大学災害科学国際研究所災害公衆衛生学分野）
岸 玲子（北海道大学環境健康科学研究教育センター）

演者：DOHaD 学説と臨床疫学研究から見た日本の低出生体重の現状
森崎 菜穂（国立研究開発法人国立成育医療研究センター社会医学研究部）

胎児期の環境要因と低出生体重：環境と子どもの健康に関する北海道スタディ
宮下ちひろ（北海道大学環境健康科学研究教育センター）

出生コホート連携に基づく胎児期から乳幼児期の環境と母児の予後との関連に関する研究
栗山 進一（東北大学災害科学国際研究所災害公衆衛生学分野）

千葉こども調査（C-MACH）について-探索的研究としての役割-
櫻井 健一（千葉大学予防医学センター栄養代謝医学分野）

成育母子コホート研究
堀川 玲子（国立成育医療研究センター内分泌代謝科）

シンポジウム B7-4

10月21日 (水) 14:40~16:10 第7会場

改めて問う、「保健指導」の意義と役割

座長：磯 博康（大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座公衆衛生学）
表 志津子（金沢大学医薬保健研究域保健学系看護科学領域）

演者：心筋梗塞発症予防のための保健指導への期待
横井 宏佳（国際医療福祉大学）

医療経済評価からみた保健指導の意義と役割
福田 敬（国立保健医療科学院保健医療経済評価研究センター）

効果的な保健指導を考える～J-HARP 研究結果をもとに
野口 緑（大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学）

新たな時代の保健指導ツール～AI を活用した保健事業の展開
加澤 佳奈（広島大学大学院医系科学研究科成人看護開発学）

住民が行動する「受療行動促進モデル」を用いた保健指導実践の結果から
堀内麻紀子（山梨県笛吹市役所健康づくり課）

シンポジウム B8-4

10月21日（水） 14:40～16:10 第8会場

現場の活動から COVID-19対応の社会的協働を展望する

座長：古屋 好美（甲府市保健所）
中瀬 克己（吉備国際大学保健医療福祉学部）

演者：COVID-19対策の現場（保健所長会緊急アンケート等）からの報告
白井 千香（枚方市保健所、全国保健所長会健康危機管理に関する委員会）

新型コロナウイルス感染症の集団発生（クラスター）対策等に関する支援
八幡裕一郎（国立感染症研究所感染症疫学センター）

PCR 検査の実務から見た課題と現実的な検査体制について
内田 勝彦（大分県東部保健所）

大阪府入院フォローアップセンターの立ち上げ
島田 秀和（大阪府岸和田保健所）

健康危機管理モニタリング活動から見た学術・実務の協働とリスク・コミュニケーション
中瀬 克己（吉備国際大学保健医療福祉学部）

シンポジウム B6-5

10月21日（水） 16:20～17:50 第6会場

生きることの包括的支援と社会的協働-その未来づくりに向けて

座長：金子 善博（労働者健康安全機構）
本橋 豊（いのち支える自殺対策推進センター）

演者：医療安全の観点からの患者の自殺予防
松村 由美（京都大学医学部附属病院医療安全管理部）

労働者のメンタルヘルスと自殺対策
堤 明純（北里大学医学部公衆衛生学単位）

児童期虐待を生き延びた人々への包括支援
金 吉晴（国立精神・神経センター精神保健研究所）

地域における包括的な自殺対策：滋賀県の取り組み
辻本 哲士（滋賀県立精神保健福祉センター）

シンポジウム B7-5

10月21日（水） 16:20～17:50 第7会場

公衆衛生分野におけるナッジ活用の現状と可能性：政策への応用と産官学連携に向けて

座長：村山 洋史（東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム）

演者：行動経済学と公衆衛生学から見たナッジ

竹林 正樹（青森県立保健大学大学院、株式会社キャンサーズキャン、横浜市行動デザインチーム）

世界と日本におけるナッジの動向

池本 忠弘（環境省、日本版ナッジ・ユニット）

地方自治体におけるナッジユニット～横浜市行動デザインチーム（YBiT）の取組～

春日 潤子（横浜市健康福祉局健康安全部保健事業課）

検診・健診の未受診者対策におけるナッジ活用の可能性

福吉 潤（株式会社キャンサーズキャン）

地方自治体におけるナッジ活用の現状と課題

高橋 勇太（横浜市行動デザインチーム（YBiT）、神奈川県横浜市健康福祉局）

シンポジウム B8-5

10月21日（水） 16:20～17:50 第8会場

JAPAN-CDCの創設に向けて：アカデミアからの提言

座長：森本 兼曩（一般財団法人産業医学研究財団常務理事）

門田 守人（日本医学会連合・日本医学会会長）

演者：COVID-19後の公衆衛生対応の強化に向けて：米国 CDC の概説と日本版 CDC 構想への論点整理

杉山 雄大（国立国際医療研究センター国際医療協力局グローバルヘルス政策研究センター、筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野）

健康を守る学術的な正しさと政策権者との関わりーCOVID-19第一波を振り返って

新村 和哉（国立保健医療科学院、日本医師会）

健康づくりでの難敵：弘前大学 COI 活動より

中路 重之（弘前大学大学院医学研究科社会医学講座）

災害と健康栄養行動の変容

阿部 圭一（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所）

ポストコロナの第4次産業革命を健康社会革命に

秋葉 澄伯（弘前大学）

指定発言：

近藤 克則（千葉大学大学院医学系研究科／予防医学センター）

谷川 武（順天堂大学大学院医学系研究科）

田宮菜奈子（筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野）

岸 玲子（北海道大学環境健康科学研究教育センター）

シンポジウム C3-1

10月22日（木） 8:50～10:20 第3会場

小児の在宅医療支援—脳性麻痺児の看護・介護の実態

座長：小林 廉毅（東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学）

演者：産科医療補償制度について

鈴木 英明（公益財団法人日本医療機能評価機構産科医療補償制度運営部）

脳性麻痺児の障害福祉サービス等の利用に影響を与える因子と社会的費用

後藤 励（慶應義塾大学大学院経営管理研究科）

脳性麻痺児の介護負担感に影響を与える要因

森脇 睦子（東京医科歯科大学医歯学総合研究科）

小児在宅医療支援の現状

三沢あき子（京都府山城南保健所）

シンポジウム C4-1

10月22日（木） 8:50～10:20 第4会場

若手研究者の公衆衛生二次データ活用に向けて—国民生活基礎調査の例から

座長：田宮菜奈子（筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野）

小橋 元（獨協医科大学医学部公衆衛生学講座）

演者：健康政策が健康格差に与えた影響の分析

田淵 貴大（大阪国際がんセンターがん対策センター疫学統計部）

国民生活基礎調査匿名データを用いた教育の実践

高橋 由光（京都大学大学院医学研究科健康情報学）

韓国の保健医療データの活用事例の紹介

Jeon Boyoung（Korea National Rehabilitation Center、筑波大学医学医療系ヘルスサービス開発研究センター）

学生として基礎調査データ申請から論文作成までを経験して学んだこと

塚崎栄里子（筑波大学医学群医学類）

利用申請・データ整備についての情報共有と研究事例、米国 NHANES の紹介

渡邊多永子（厚生労働省、筑波大学ヘルスサービス開発研究センター）

シンポジウム C5-1

10月22日 (木) 8:50~10:20 第5会場

健康長寿のために住宅はどうあるべきか (国立保健医療科学院企画)

座長：曾根 智史 (国立保健医療科学院)
小林 健一 (国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部)

演者：世界保健機関 (WHO) の住宅と健康のガイドライン
東 賢一 (近畿大学・医学・環境医学・行動科学)

住環境因子と健康との関連 -平城京スタディからわかったこと-
佐伯 圭吾 (奈良県立医科大学医学部疫学予防医学教室)

健康長寿を実現するスマートウェルネス住宅
伊香賀俊治 (慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科)

福祉施設における室内環境管理の実態と課題
阪東美智子 (国立保健医療科学院生活環境研究部建築・施設管理研究領域)

健康増進に向けた住宅環境整備のための研究
林 基哉 (北海道大学大学院)

シンポジウム C2-2

10月22日 (木) 10:30~12:00 第2会場

今後の災害精神保健医療福祉活動のあり方

座長：太刀川弘和 (筑波大学医学医療系災害・地域精神医学)
宇田 英典 (地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター)

演者：これまでの DPAT 活動と支援側からみた課題
五明佐也香 (獨協医科大学埼玉医療センター救急医療科、DPAT 事務局)

災害時精神保健医療福祉体制の受援側からみた課題
中原 由美 (福岡県宗像・遠賀保健福祉環境事務所)

「4Ws、つなぎマップ」を用いた災害時精神保健心理社会的支援における地域連携の検討
丸山 嘉一 (日本赤十字社医療センター国内・国際医療救援部、日本赤十字社災害医療統括監)

災害時の精神保健医療福祉活動マニュアル試案について
高橋 晶 (筑波大学医学医療系災害・地域精神医学、茨城県立こころの医療センター精神科)

災害後中長期の精神保健福祉体制のガイドライン試案
辻本 哲士 (滋賀県立精神保健福祉センター)

シンポジウム C3-2

10月22日 (木) 10:30~12:00 第3会場

地域で進める歯周病対策の方向性と課題

座長：尾崎 哲則 (日本大学歯学部医療人間科学分野)
福田 英輝 (国立保健医療科学院)

演者：歯科口腔保健施策における歯周病対策の動向と課題
三浦 宏子 (北海道医療大学歯学部保健衛生分野)

地域住民の歯周病改善に関する疫学的検討：福岡県久山町での歯科健診結果からの知見
古田美智子 (九州大学大学院歯学研究院口腔予防医学分野)

働き盛り世代の糖尿病・メタボリックシンドロームの関連と医科歯科連携
福田 洋 (順天堂大学大学院医学研究科先端予防医学・健康情報学講座)

シンポジウム C4-2

10月22日 (木) 10:30~12:00 第4会場

沖縄県における医療計画、がん計画、専門的がん医療機関の選定とレコード・リンケージ

座長：中村 幸志（琉球大学大学院医学研究科衛生学・公衆衛生学講座）
糸数 公（沖縄県保健医療部）

演者：沖縄県におけるロジックモデルを基礎とした医療計画策定
埴岡 健一（国際医療福祉大学）

沖縄県におけるロジックモデルとがん登録等のデータを基礎にしたがん計画策定
増田 昌人（琉球大学病院がんセンター）

沖縄県におけるがん登録等のデータを基礎にした専門的がん医療機関の選定条件策定
伊佐 奈々（琉球大学病院がんセンター）

医療施策の評価を目的とした保健医療情報のレコード・リンケージの方法と精度
井岡亜希子（琉球大学医学部、まるレディースクリニック）

シンポジウム C5-2

10月22日 (木) 10:30~12:00 第5会場

モニタリングレポート委員会による「賛否の分かれる公衆衛生対策に関するディベート」

座長：尾崎 米厚（鳥取大学医学部環境予防医学分野）

演者：COVID-19予防のための、学童期の長期休校の賛否
高橋美保子（埼玉医科大学医学部社会医学）
後藤 あや（福島県立医科大学総合科学教育研究センター）

新型コロナウイルス感染症に対する PCR 検査を増やすべきか
鈴木 貞夫（名古屋市立大学大学院医学研究科公衆衛生学分野）
吉田 都美（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻薬剤疫学分野）

モニタリングレポート委員会による「賛否の分かれる公衆衛生対策に関するディベート」
坂野 晶司（板橋区志村健康福祉センター）

シンポジウム C2-3

10月22日 (木) 13:00~14:30 第2会場

公衆衛生活動と専門職教育の統合；新型肺炎対応をきっかけとして

座長：橋本 英樹（東京大学大学院公共健康医学専攻）
古川 壽亮（京都大学大学院医学研究科健康増進・行動学分野）

演者：新型肺炎対応によって公衆衛生教育（修士以上の専門職）に突き付けられた課題
橋本 英樹（東京大学大学院公共健康医学専攻）

帝京大学における学内外での連携活動と教育実践
福田 吉治（帝京大学大学院公衆衛生学研究科）

COVID-19健康危機における「ひろしま CDC」と大学教育機関の関わり
田中 純子（広島大学大学院医系科学研究科疫学・疾病制御学）

北海道大学における取組とオンライン教育の課題について
玉腰 暁子（北海道大学大学院医学研究院公衆衛生学）

神奈川県立保健福祉大学における専門職教育と公衆衛生活動の統合に向けた取り組み
鄭 雄一（神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科、東京大学大学院医学系研究科）

シンポジウム C3-3

10月22日（木） 13:00～14:30 第3会場

薬機法改正と社会資源としての薬剤師との協働による公衆衛生の向上及び増進

座長：川崎 直人（近畿大学薬学部公衆衛生学、近畿大学アンチエイジングセンター）
多根井重晴（日本薬科大学薬学部）

演者：医師・薬局経営者から見た地域医療資源としての薬局・薬剤師
狭間 研至（ファルメディコ株式会社）

保健所と地区薬剤師会との協働事業

松田 岳彦（茨木保健所生活衛生室薬事課）

薬機法改正と社会資源としての薬剤師との協働による公衆衛生の向上及び増進

金山 美沙（株式会社ゆうホールディングス在宅事業部）

がん患者を地域で支えるためにがん薬物療法認定薬剤師ができること

櫻井登代子（医療法人社団洛和会洛和会音羽病院）

地域医療を担う薬剤師に求められる新たな薬局機能への挑戦

中林 保（京都府薬剤師会、おれんじ薬局）

シンポジウム C4-3

10月22日（木） 13:00～14:30 第4会場

医療計画とがん計画の中間評価～あるべきインパクト評価と EBPM 普及への道～

座長：今村 知明（奈良県立医科大学）
埴岡 健一（国際医療福祉大学）

演者：医療計画・がん計画の中間評価のためのマニュアルによる支援
埴岡 健一（国際医療福祉大学）

医療計画・がん計画の評価指標データセット提供による支援

渡部 鉄兵（株式会社ウェルネス）

沖縄県医療計画の中間評価の試みから

高嶺 公子（沖縄県保健医療部医療政策課）

奈良県がん対策推進計画の中間評価の試みから

大井久美子（奈良県中和保健所健康増進課）

日本の EBPM と医療計画・がん計画の評価の進展状況

前村 聡（日本経済新聞社）

シンポジウム C5-3

10月22日 (木) 13:00~14:30 第5会場

スマホ・ネット・ゲーム依存対策の社会的協同～学術知見から実地臨床まで～

座長：井谷 修 (日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野)
尾崎 米厚 (鳥取大学医学部環境予防医学分野)

演者：スマホ・ネット依存, ゲーム障害の最新大規模調査の結果について
金城 文 (鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野)

なぜゲームに依存するのか 臨床現場における診療の取り組み
松崎 尊信 (国立病院機構久里浜医療センター精神科)

新しいスマートフォン依存尺度の開発～スマホ依存対策に向けて～
戸田 雅裕 (ノートルダム清心女子大学大学院人間生活学研究科)

eスポーツの現状について～公衆衛生学の立場より～
井谷 修 (日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野)

シンポジウム C2-4

10月22日 (木) 14:40~16:10 第2会場

災害・事故時の化学物質のリスク評価・管理—河川や大気へのリスクの見える化—

座長：奥村 二郎 (近畿大学医学部環境医学・行動科学教室)
鈴木 規之 (国立環境研究所環境リスク・健康研究センター)

演者：災害・事故時の化学物質対策に係る行政施策—事故事例とリスク管理の基盤構築—
太田志津子 (環境省大臣官房環境保健部環境安全課)

災害・事故時及びそれに備えた水道水源水質の異常検知と影響予測手法の開発
浅見 真理 (国立保健医療科学院生活環境研究部、京都大学大学院)

大阪市浄水場におけるビックデータの解析—水質の異常検知と影響予測—
市川 学 (芝浦工業大学システム理工学部)

水質事故迅速モニタリング手法の開発
小林 憲弘 (国立医薬品食品衛生研究所生活衛生化学部第三室)

迅速予測手法統合プラットフォームの開発—大気、河川への化学物質等流出を想定して—
高橋 邦彦 (東京医科歯科大学 M&D データ科学センター)

シンポジウム C3-4

10月22日 (木) 14:40~16:10 第3会場

10年後に目指すべき自治体管理栄養士の姿を考える

座長：由田 克士 (大阪市立大学大学院生活科学研究科食・健康科学講座公衆栄養学)
澁谷いづみ (愛知県一宮保健所)

演者：市町村に勤務する自治体管理栄養士の目指すべき姿
田中 和美 (神奈川県立保健福祉大学栄養学科)

都道府県型保健所に勤務する自治体管理栄養士の目指すべき姿
磯部 澄枝 (新潟県新津保健所)

都道府県庁主管部局に勤務する自治体管理栄養士の目指すべき姿
諸岡 歩 (兵庫県健康福祉部健康局健康増進課)

自治体管理栄養士が身につけるべきデータ分析スキルを考える
横山 徹爾 (国立保健医療科学院生涯健康研究部)

シンポジウム C4-4

10月22日（木） 14:40～16:10 第4会場

『健康長寿・笑顔のまち・京都』の実現に向けた地域の健康関連データの有効活用

座長：中山 健夫（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学）
中条 桂子（京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室）

演者：地域の大学と共に取り組む健康長寿のまち・北区～インターバル速歩による自主活動～
濱野 強（京都産業大学現代社会学部、島根大学地域包括ケア教育研究センター）

京の食文化と健康づくり～幼少期からの食育推進から見えること～
鵜飼 治二（近又七代目又八）

京都市フレイル対策モデル事業におけるデジタル技術の可能性
望月 斉弘（日本電気株式会社産業ソリューション事業部）

「健康長寿のまち・京都いきいきポイント」～産・官・学・民連携の未来～
白崎晃太郎（京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室健康長寿企画課）

シンポジウム C5-4

10月22日（木） 14:40～16:10 第5会場

年代別の引きこもりの疾患、予防・対策

座長：堤 明純（北里大学医学部公衆衛生学）
野村 恭子（秋田大学医学部衛生学公衆衛生学講座）

演者：なぜ日本にひきこもりが多発するのか
高塚 雄介（明星大学）

「ひきこもり」問題における「来訪型」支援の限界と「訪問型」支援の在り方の検討
谷口 仁史（認定特定非営利活動法人スチューデント・サポート・フェイス）

研究と実践の循環「ふらっと」：混合研究手法を用いたひきこもり自立支援への提言
Yong Roseline（秋田大学衛生学・公衆衛生学講座）

社会的フレイル・介護予防の視点からとらえた高齢期の閉じこもり支援
藺牟田洋美（東京都立大学健康福祉学部）

奨励賞受賞講演

10月21日（水） 13:00～14:30 第4会場

座長：今中 雄一（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野、京都大学超高齢社会デザイン価値創造ユニット）

演者：日本人における生活習慣や健診所見とその影響に関する疫学研究
梅澤 光政（獨協医科大学医学部）

地域社会における災害対策・危機管理に関する公衆衛生学的研究
富尾 淳（東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学）

健康長寿社会の実現に向けた疫学研究と公衆衛生活動
富岡 公子（奈良県立医科大学県民健康増進支援センター）

グローバル化社会における保健所の役割に関する研究活動
劔 陽子（熊本県人吉保健所）

座長：上原 里程（京都府立医科大学大学院医学研究科地域保健医療疫学）
内田 勝彦（大分県東部保健所）
曾根 智史（国立保健医療科学院）

演者：特定健康診査の糖尿病薬処方に関する質問項目のバリデーション研究
西岡 祐一（奈良県立医科大学公衆衛生学講座、奈良県立医科大学附属病院糖尿病センター）

大規模レセプトデータを用いた百寿者及び非百寿者の死亡前医療費の比較
中西 康裕（奈良県立医科大学公衆衛生学講座）

東日本大震災による事故直後の就業状況と PTSD 及び心理的苦悩の経年変化の関係
田島 朋知（順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座）

接触者健診における60歳以上の者に対する IGRA 検査についての考案
蒲田脩圭里（大阪市保健所感染症対策課）

Gaming disorder and its associated factors among elementary school children
Yamada Masaaki（University of Toyama Dept. of Epidemiology and Health Policy）

がん診療連携拠点病院指定要件の妥当性の検討：年間手術件数と生存率の関連性より
大川 純代（大阪国際がんセンターがん対策センター）

機械学習を用いた医療・介護・健診・所得からの個人将来要介護度予測に関する研究
林 慧茹（株式会社エクサウィザーズ、京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野）

高齢 COPD 患者における在宅医療・介護サービス利用状況と入院との関連
北村 智美（東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻高齢者在宅長期ケア看護学／緩和ケア看護学分野）

Mental, physical and social health among older Japanese with public assistance
Kino Shiho（The University of Tokyo, Department of Health Education and Health Sociology）

COVID-19蔓延によるデイサービスの長期欠席が運動機能と ADL に及ぼす影響
原 広司（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野、京都大学産官学連携本部）

要介護認定後2年間の累積骨折発生率と医療費—介護予防の一体的実施に係る指標づくり
陣内 裕成（日本医科大学衛生学公衆衛生学、筑波大学ヘルスサービス開発研究センター）

地域レベルの社会参加と介護給付費との関連：JAGES 縦断データによるマルチレベル分析
宮國 康弘（国立長寿医療研究センター老年学・社会科学研究センター老年学評価研究部）

口演賞

各分科会にて発表

演者：レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）：HIV/AIDSの現在通院患者数の把握
野田 龍也（奈良県立医科大学公衆衛生学講座）

Bullying victimization among adolescents and risk factors across 71 countries
Hosozawa Mariko (Institute for Global Health Policy Research, National Center for Global Health and Medicine)

COVID-19 Prevention Among Congolese Healthcare Workers and Safety Imperatives
Ngatu Nlandu (Kagawa University Faculty of Medicine)

介護事業所における職員の精神的健康状態と利用者のQOL、組織文化との関連
中部 貴央（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野）

介護福祉施設入所者の医療費の実態および関連要因
酒井 晶子（筑波大学医学群医学類）

スポンサードセッション1

10月20日（火） 12:05～12:55 第2会場

座長：二宮 利治（九州大学大学院医学研究院衛生・公衆衛生学分野）

演者：ハイリスク者への効果的な「保健指導」を考える～J-HARP 研究「受療行動促進モデル」を中心に
野口 緑（大阪大学大学院医学研究科公衆衛生学）

共催：アムジェン株式会社・アステラス製薬株式会社

スポンサードセッション2

10月20日（火） 12:05～12:55 第3会場

演者：地域連携が病院経営を左右する時代に

渡辺 優（野村ヘルスケア・サポート&アドバイザー株式会社）

共催：野村ヘルスケア・サポート&アドバイザー株式会社

スポンサードセッション3

10月20日（火） 12:05～12:55 第4会場

新型コロナウイルス院内感染対策～公衆衛生と地域医療の連携～

座長：宇田 英典（地域医療振興協会地域医療研究所ヘルスプロモーション研究センター）

演者：病院の立場から

吉田 卓義（地域医療振興協会練馬光が丘病院）

診療所の立場から

望月 崇紘（地域医療振興協会君津市国保小櫃診療所）

公衆衛生の立場から

内田 勝彦（全国保健所長会（大分県東部保健所））

共催：公益社団法人地域医療振興協会

スポンサードセッション4

10月20日（火） 12:05～12:55 第5会場

演者：脳卒中予防に関する啓発活動－企業としての取り組み

岸谷健一郎（バイエル薬品株式会社マーケットアクセス本部循環器・腎臓領域マーケットアクセス
&プライシング）

共催：バイエル薬品株式会社

スポンサードセッション5

10月21日（水） 12:05～12:55 第2会場

演者：腸内環境を介した免疫制御の理解とウィズコロナ時代に向けた生体防御システムの構築

國澤 純（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所）

共催：株式会社はくばく

スポンサードセッション6

10月21日（水） 12:05～12:55 第3会場

脂肪肝をターゲットとした新しい健康戦略－佐久スマートプロジェクトとその展開－

座長：大橋 靖雄（中央大学理工学部、東京大学）

演者：尾形 哲（佐久市立国保浅間総合病院）

西森 栄太（佐久市立国保浅間総合病院）

共催：株式会社メディカルメンバーシステム

スポンサードセッション7

10月21日（水） 12:05～12:55 第5会場

社会的協業によるヘルスケアの可能性～健診・保健指導・重症化予防、インフラとDATA活用～

座長：福田 治久（九州大学大学院医学研究院医療経営管理学講座）

コメンテーター：岡田 邦夫（NPO 法人健康経営研究会）

演者：一般財団法人日本予防医学協会

大日本印刷株式会社

株式会社ウェルクル

シミックヘルスケア・インスティテュート株式会社

NPO 法人健康経営研究会

共催：一般財団法人日本予防医学協会

スポンサードセッション8

10月22日（木） 12:05～12:55 第2会場

演者：電磁過敏症って本当にあるの？－WHOの見解を紹介します－

大久保千代次（一般財団法人電気安全環境研究所電磁界情報センター）

共催：一般財団法人電気安全環境研究所

スポンサードセッション9

10月22日（木） 12:05～12:55 第3会場

演者：公衆衛生における診療ガイドラインの意義・役割

中山 健夫（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野）

Minds とは:ガイドラインをもっと使いやすく、作りやすく、役立つように

福岡 敏雄（公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院、公益財団法人日本医療機能評価機構）

共催：公益財団法人日本医療機能評価機構